

イタリアでデザインされ、日本で作られた良質の道具は、日本だけでなく世界中で人気である。イタリアの盆栽家マルコ・インベルニッツィは木村正彦氏の元で数年間学び、新しいデザインを試作し、今日では他の盆栽家たちに親しまれている。ここにその成功の理由を語る。

- 1) その人間工学に基づく革新的なデザインにより、盆栽家は背中・肩・ひじを適した位置に置くことができ、負担も少なくなるためより長く快適で健康にも良い作業ができる。
- 2) 重さは、市場に出ている典型的な道具よりもわずかに少ないだけだが、実際に手に持つと他のものよりも50%くらいに軽く感じる。
- 3) 「イチバン」には1つで7つの機能がある。道具入れが軽くなるだけで、より早く仕事ができ、また作業に集中し続けられる。「イチバン」の機能には、芽摘み鋏、小枝切鋏、又枝切、根切鋏、針金切鋏、彫刻刀、ハンマー、やっこがある。
- 4) 「イチバン」の2つの刃は新しい特別なデザインのリベットで接続されており、従来のものより4倍強く、ジンとシャリや、枝を曲げたり、アルミ線を切ったり、4mmの太さの枝を切るためにも使うことができる。(使い方参照)
- 5) 「イチバン」の刃は従来のものより20%長く作られているので、今まで届かなかった場所にも届く。そのため、盆栽の繊細な部分から手を遠く離していただける。頻繁に利用したとしても、何年もその刃を研ぐ必要はない。
- 6) 「イチバン」は過去3世代において盆栽道具製作のための最も素晴らしく、人気のある「昌国」の芸術的鍛冶屋たちによって1つ1つ手作りされた。「イチバン」は良い状態で管理すればさびることはない。「イチバン」の購入者には、刃に残る松ヤニを取り除くのに便利な、「イチバン」専用の刃のクリーナーがついている。
- 7) 「イチバン」のグリップは特別なラバー加工が施されているため、大きな手の盆栽家、女性、繊細な人、また手の健康について考えている人など全ての人々が、いらいらするような指の痛みや、皮膚が硬くなることを気にせず使用できる。左利きでも右利きでも使用でき、刃を上に向けるようなこともできるので、今まで届かなかった部分にもはさみが届く。
- 8) 同じ工場で作られた道具は、違う種類だったとしても似ているため、不意に他の人の道具と取り違えてしまったり、失くしやすかったりする。「イチバン」は間違いのないサインを彫ったり、書いたり、記すための部分が特別に作られている。それにより、これからは誰かがあなたの「イチバン」を盗んだとしても、その人はそれで仕事をすることはできません！
- 9) 一般的には鋏を落とすと、刃先が壊れ使用できなくなる。「イチバン」に関しては、刃先は壊れにくく設計されており、もし刃が落ちて、その重さにより、80%の確率で刃先が地面に落ちる前に彫刻刀の刃が先にあたるようになっている。その刃先は鋭くなっており、盆栽家はナイフや彫刻刀として皮をむいたり、いらぬ残留物を搔きとったりするために使うことができるようデザインされている。
- 10) 「イチバン」は道具入れやズボンのポケットを破ることはない。その革新的なデザインによって、カウボーイがピストルを使うよりも迅速に道具を出し入れすることができる。
- 11) 「イチバン」を持ちながら、針金を切るのは何ら問題ではない。ただ前腕を上げ、手を開き、「イチバン」を180°回転させれば、親指と人差し指と中指は針金に使うことができる。その使い方をすれば、アルミ製でも銅製でも針金を自由に切ることができる。
- 12) その絹が施された木製の箱は、日本の皇室も収集している芸術作品の箱を手掛けた職人手製のものである。「イチバン」は盆栽の質や、作業の喜びをより多く求める盆栽家に理想的な贈り物となっている。
- 13) 「イチバン」を購入すると、「イチバンクラブ」に加入でき、世界中の「イチバン」愛好者と触れ合うことができ、またマルコ・インベルニッツィから役立つ情報や、最新情報、アドバイスを受けることができる。
- 14) 「イチバン」は専門家のためだけの道具ではない。マルコ・インベルニッツィは彼の長い経歴の中で、5大陸1000回以上のセミナーを行い、幅広い能力・スタイル・技術・特性を持つ盆栽家たちと関わってきた。その経験を生かして、盆栽の道具において、私たちは過去100年の中で最も素晴らしく、役に立つ改善を提供している。全てが「イチバン」に詰まっている。1つで全てを兼ね備えているのだ。